



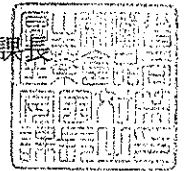
薬食総発0324第1号  
薬食安発0324第1号  
平成22年3月24日

各 { 都道府県  
保健所設置市  
特別区 } 薬務主管部(局)長 殿

厚生労働省医薬食品局総務課長



厚生労働省医薬食品局安全対策課長



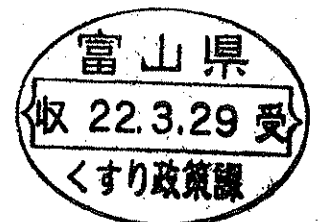
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第2回集計報告の公表について

医薬行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業は、財団法人日本医療機能評価機構による厚生労働省補助事業であり、平成21年4月より、薬局から報告されたヒヤリ・ハット事例等を収集、分析し提供することにより、広く薬局が医療安全対策に有用な情報を共有するとともに、国民に対して情報を提供することを通じて、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的として実施しており、今般、(財)日本医療機能評価機構より、第2回集計報告が公表されました。

本報告書における報告の現況等は、別添1のとおりです。また、別添2のとおり、共有すべき事例が報告されています。

貴職におかれましては、同様の事例の再発防止のために、本報告書の内容を確認の上、別添の内容について留意されるとともに、貴管下関係機関に対して、周知方お願いいたします。

なお、本報告書につきましては、別途(財)日本医療機能評価機構から各都道府県知事宛に送付されており、同機構のホームページにも掲載されています(<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>)ので申し添えます。



## 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第2回集計報告 (概要)

1. 報告の現況 (対象:平成21年7月~12月に発生した事例)
- (1) 事業参加薬局数:1,774 薬局
- (2) 総報告件数:1,285 件 (報告があった薬局数:139 薬局)
2. 事例の概要 (報告書p9)

事例の概要	件数
調 剤	1,177
疑 義 照 会	99
特定保険医療材料	9
医薬品の販売	0
合 計	1,285

- (1) 調剤に関する項目 (報告書p10)

発生場面	事例の内容	件数	発生場面	事例の内容	件数
調 剤	調 剤 忘 れ	93	管 理	充 填 間 違 い	3
	処方せん鑑査間違い	29		異 物 混 入	1
	秤 量 間 違 い	13		期 限 切 れ	2
	数 量 間 違 い	544		そ の 他 ( 管 理 )	2
	分 包 間 違 い	61	交 付	患 者 間 違 い	4
	規格・剤形間違い	179		説 明 間 違 い	3
	薬 剤 取 違 え	164		交 付 忘 れ	7
	説明文書の取違え	4		そ の 他 ( 交 付 )	5
	分包紙の情報間違い	7	合 計	1,177	
	薬袋の記載間違い	32			
	そ の 他 ( 調 剤 )	24			

- (2) 疑義照会 (報告書p11)

仮に変更前の処方の通りに服用した場合の影響	件数
患者に健康被害があったと推測される	55
患者に健康被害が生じなかったが、医師の意図した薬効が得られなかったと推測される	44
合 計	99

(3) 特定医療保険材料に関する項目（報告書 p12）

発生場面	事例の内容	件数
調剤	調剤忘れ	1
	処方せん鑑査間違い	0
	数量間違い	0
	規格間違い	3
	説明文書の取違い	0
	材料の取違い	4
	その他（調剤）	1
管理	期限切れ	0
	その他（管理）	0
交付	患者間違い	0
	説明間違い	0
	交付忘れ	0
	その他（交付）	0
合計		9

3. 共有すべき事例（報告書 p23～40）

平成21年7月1日から同年12月31日までに報告されたヒヤリ・ハット事例の中から、特に、広く医療安全対策に有用な情報として共有することが必要であると思われる事例を選び掲載されています。今回の「共有すべき事項」は次の通りです。